

2020年5月11日 第322号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

安倍内閣は検察人事に介入するな！

憲法を生かしたコロナ対策を

「安倍内閣は検察人事に介入するな！」「コロナに乗じた改憲策動は許さない！」—憲法共同センターは5月11日昼、御茶ノ水駅頭で「9の日」宣伝を行い、5団体16人が参加しました。改憲発議に反対する署名は、8人の方から寄せられました。通りがかったガンを治療中という男性は、「こういう宣伝をしてくれていることに励まされる」と話していられました。



全労連の小田川義和議長ははじめに「昼夜をわかつたず、感染者の治療に奮闘いただいている医療従事者のみなさん、外出自粛要請が続くもとで社会インフラを維持するためにご努力いただいている多くのみなさんに感謝を申し上げる」と呼びかけました。「政府は自粛を求めるのなら、医療体制の充実に、検査体制の充実に、収入が途絶えた市民に今すぐ届く支援策にもっと力

を、今すぐ対策をとるべき」と批判。インターネットで「#検察庁法改正案に抗議します」のツイートが広がっていることを紹介。「桜を見る会の私物化、そのことが国会で追及された直後に検察官の定年延長論議が動き出した。安倍首相と近い黒川検事長の定年を延長し検事総長に据えて、自らの疑惑を検察が追及しないようにしたと疑われている。検察まで私物化して、身の安泰を図ろうとする、そのための検察庁法改正案をコロナ禍に乗じて火事場泥棒のように通過させてはならない」と訴えました。

憲法会議の高橋信一事務局長は「3000万人署名などの力で、4項目の自民党改憲案の提示、改憲発議を行わせてこなかった。コロナに乗じて、憲法に緊急事態条項を書き込ませてはならない。明治憲法下での反省から現憲法には緊急事態条項が入っていない。安倍政権は、コロナの感染拡大を止める、1日も早い収束のために力を尽くすべき」と指摘しました。

全労連の長尾ゆり副議長は「私たちはコロナ問題について『自粛と補償は一体で』とずっと求めてきた。10万円1回では足りない。毎月給付すべきだ。オスプレイやステルス戦闘機でいのちやくらしは守れない。韓国では防衛費を削減しコロナ対策に回した。今こそ、憲法9条、25条の出番。必要のないものにお金を使わずに、憲法を生かしたコロナ対策に使うよう政府に求めていこう」と呼びかけました。

★コロナに負けず各地でがんばってます！

●福井 毎月の9の日行動 いのちとくらしを守ろう！



福井県共同センターは5月9日昼、毎月の9の日行動を、JR 福井駅西口前で実施しました。参加者は10人。「新型コロナウイルス対策に思い切った予算を」「いのちとくらしを守ろう」「自粛と補償は一体で」などを求め、スタンディング、チラシ配布、ハンドマイクで宣伝を行いました。

●東京 オール大塚宣伝 コロナ対策「自粛と補償はセットで」に「その通り」



オール大塚の宣伝は、5月8日昼、大塚駅南口で8団体14人の参加で実施しました。改憲発議反対緊急署名3筆を集めました。

音出しやチラシ配布はせず、プラカードや横断幕を掲げてのスタンディング行動に切り替えて行いました。

音出しがないこともあり、プラカードや横断幕に一層注目が集まりました。

「新型コロナウイルス感染防止のために自粛と補償はセットで」と書かれた横断幕をみて、「その通り」、「そうしてほしいね」などの好意的な反応がありました。

当面の取り組み

- ・総がかり行動実行委員会スタンディング宣伝 5月12日(火)17時30分～ 新宿駅西口
- ・安倍9条改憲NO！ウィメンズアクション 5月27日(水)17時～ 有楽町・イトシア前

●総がかり行動実行委員会 5月の「19日行動」は中止になりました。